

活用事例	3 授業中に地震・津波が発生した場合の二次避難場所までの避難訓練 【特色】地域の交番の協力による避難時の安全確保		
学校名	平生町立平生小学校		
日時	平成25年10月4日（金） 2時間目		
場所	各教室及び大星山入口	参加者	児童・教職員及び警察署署員

## 1 訓練のねらい

- (1) 地震及び津波発生時における安全な基本行動を身に付ける。
- (2) 地震や津波に備え、安全意識の高揚を図るとともに、生命尊重の精神を養う。
- (3) 非常時における職員の避難誘導體制の確認を行う。

\*地震発生から20分以内に目的地までの避難誘導を完了する。(昨年度18分30秒)

二次避難開始からは15分以内

(昨年度13分30秒)

### 〈地震の想定〉

#### ○【一次避難】

授業中に震度6弱の地震が発生。児童を各教室に避難させる。

#### ○【二次避難】

大津波警報が発令されたことを受け、児童を大星山方面に速やかに避難させる。

## 2 指導内容及び訓練の概要

### (1) 事前指導

- ・地震や津波に備える日頃の心構えを話し合う。  
\*防災教育指導資料の活用
- ・震災時における安全な基本行動を理解させる。

### (2) 訓練の実施

#### ① 地震発生の緊急放送（第1報）

「訓練、地震警報。ただ今地震発生。児童の皆さんは、すぐに机の下にもぐりなさい。」



#### ② 地震が止んだことを告げる放送

(30秒後)

「訓練、揺れが止まりました。児童の皆さんはそのまま教室に待機してください。教室以外の場所にいる人は、先生の指示に従って自分の教室に戻ってください。」

#### ③ 一次避難開始（1分後）

- ・児童を各教室に避難させる。

#### ④ 一次避難完了（3分後）

- ・人員確認・報告
- ・教室待機・情報収集

#### ⑤ 大津波警報発表の緊急放送（4分後）

「訓練、大津波警報が発表されました。津波の高さは3m程度、津波到達時刻は10時30分頃と予想されます。児童の皆さんは、先生の指示に従い、大星山方面に避難してください。」

#### ⑥ 二次避難開始（5分後）

- ・児童を大星山方面に避難させる。



教職員の指示（情報）に耳を傾け落ち着いて行動



学校に戻って避難訓練のふり返り



平生交番の協力を得て安全に避難

※事前・事後指導に活用した防災教育指導資料

- ・津波防災啓発ビデオ「津波からにげる」（気象庁制作）
- ・津波防災ハンドブック（気象庁制作）
- ・防災教育テキスト  
「自然災害から自分の命を守るために」  
（山口県教育庁学校安全・体育課）
- ・危険予測学習（KYT）資料集  
（山口県教育庁学校安全・体育課）



自分の命は自分で守る  
少しでも速く高台へ避難

### 3 訓練の成果と課題

【成果】

- ◇ 避難経路を低中学年（二次避難場所まで約750m）と高学年（同 約1000m）に分けたことで混雑することなく、全校児童を安全に避難させることができた。
- ◇ 一昨年は、避難経路の確認を主目的にゆっくり歩いて避難を行ったが、昨年度は、素早く行動することをめあてに実施した。今年度は、さらに避難までにかかる時間を短縮することを目標に実施し、成果を上げることができた。事前指導の防災教育をセットにしたことで児童の意識が高まった。
- ◇ 昨年度から平生幹部交番の協力を得て、より安全に速やかに避難することができた。



学級ごとに2列に並んで速やかに避難

【課題】

- ◆ 一斉下校等の場を避難訓練の一環として位置付け、全校児童が一切私語をせず、速やかに行動できるよう普段から意識を高めていくとよい。
- ◆ 隣接する平生幼稚園との共同実施も視野に入れて、より実践的な避難訓練を計画していく必要がある。

- ⑦ 二次避難完了（20分後）
  - ・人員確認・報告
- ⑧ 運動場へ移動
  - ・講評と学年指導（学年で事後指導）
- (3) 事後指導
  - ・訓練の反省（問題点の把握）
  - ・基本行動の確認(①放送や先生の指示を聞く②お・は・し③静かに座って待つ)